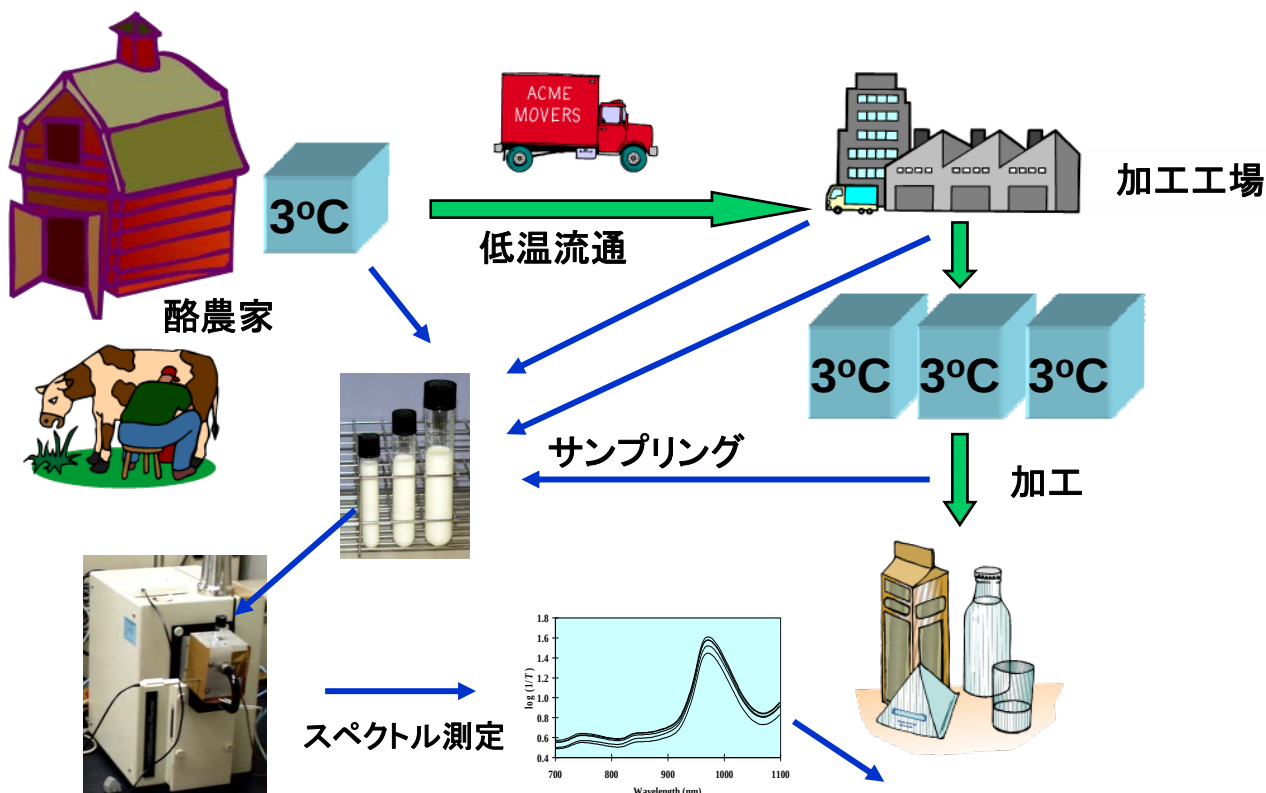


近赤外分光法による生乳微生物汚染の迅速検出

技術の特徴

従来の培養法に変わる新しい方法として、近赤外分光法による生乳微生物汚染の迅速測定法を開発しました。この方法は次の特徴を有します。

- 生乳を試験管に入れ、その透過スペクトルを測定するだけで、一般生菌数が瞬時に求められます。
- 一般生菌数の増加は衛生管理・低温流通に問題があることを意味します。
- 工場における生乳受入検査及び加工工程の品質管理に利用可能です。



今後の展開

検量モデルの構造について、特に菌の種類との関係について検討します。

参 考

2007年食品科学工学大会にて発表

